

伊豆東部火山群

○概況（平成 18 年 2 月）

21～25 日に地震が一時的にやや増加し、わずかな地殻変動も観測されました。同様な活動は過去にもしばしばみられていますが、火山活動には特段の変化はなく静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況（図 1、図 2、図 3）

21 日昼頃から、伊東市街の北東沖、深さ約 7～10km 付近を震源とする微小な地震が発生し始め、22 日夜から 23 日午後にかけてやや増加しました。最大地震は 23 日 05 時 35 分に発生した M2.2 で、この地震も含め震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。この活動に伴って、東伊豆町に設置している体積歪（ひずみ）計や伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にわずかな変化がみられました。

また、25 日から伊東市大崎の北、深さ 5～8 km 付近を震源とする地震が発生し始め、25 日 10 時 22 分に発生した M2.8 の地震により、熱海市網代で最大震度 2 を観測しました。

さらに、伊東市宇佐美付近を震源とする地震が、28 日 6 時～8 時にかけて一時的に増加しました。最大地震は 28 日 06 時 48 分に発生した M2.7 で、この地震により熱海市網代で最大震度 2 を観測しました。主な地震の震源の深さは 2～5 km と浅いものでした。

同様な地震活動は過去にもしばしばみられていますが、今回の活動はいずれも規模の小さなものでした。また、火山性微動及び低周波地震は観測されませんでした。

注）M（マグニチュード）はいずれも暫定値で、後日変更されることがあります

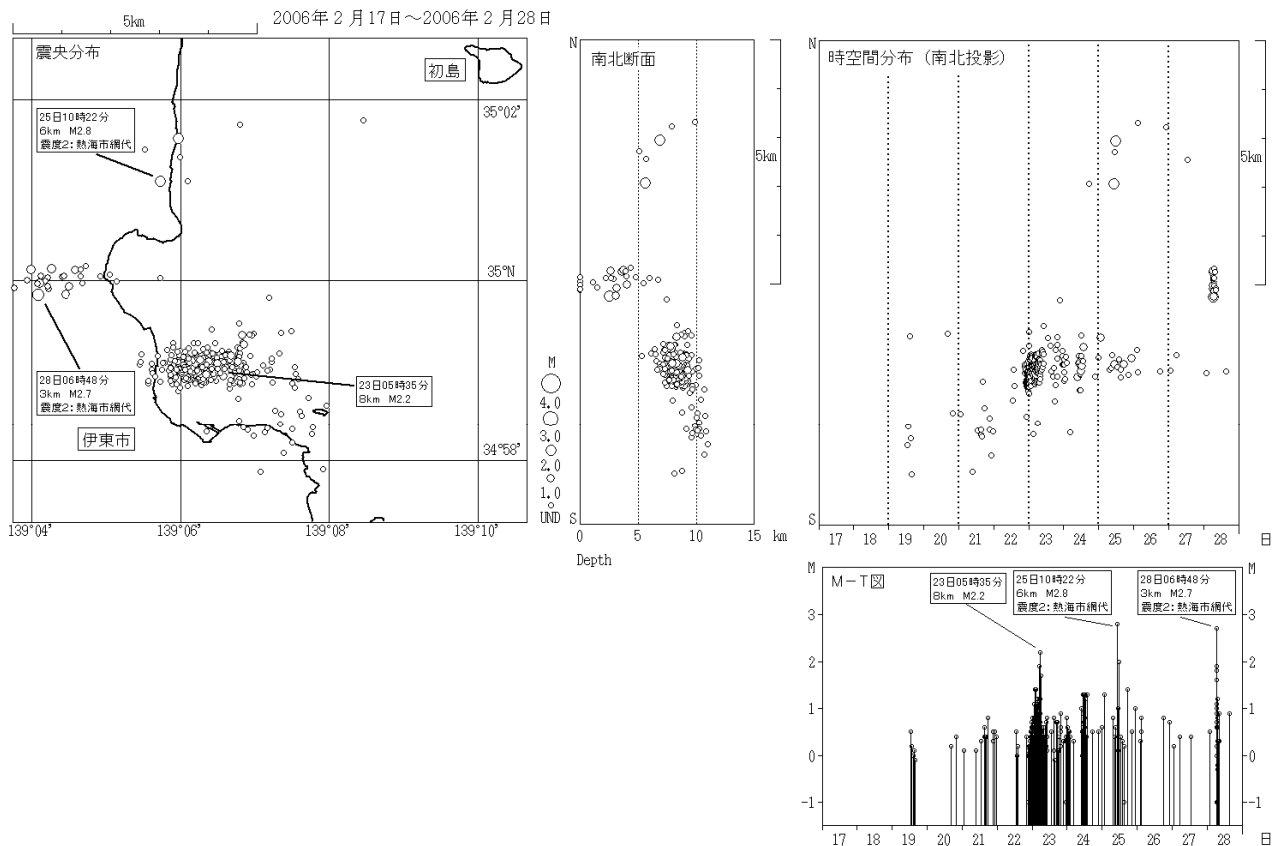


図 1※ 伊豆東部火山群 最近の地震活動（2005 年 2 月 17 日～28 日、M は暫定値）

※この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

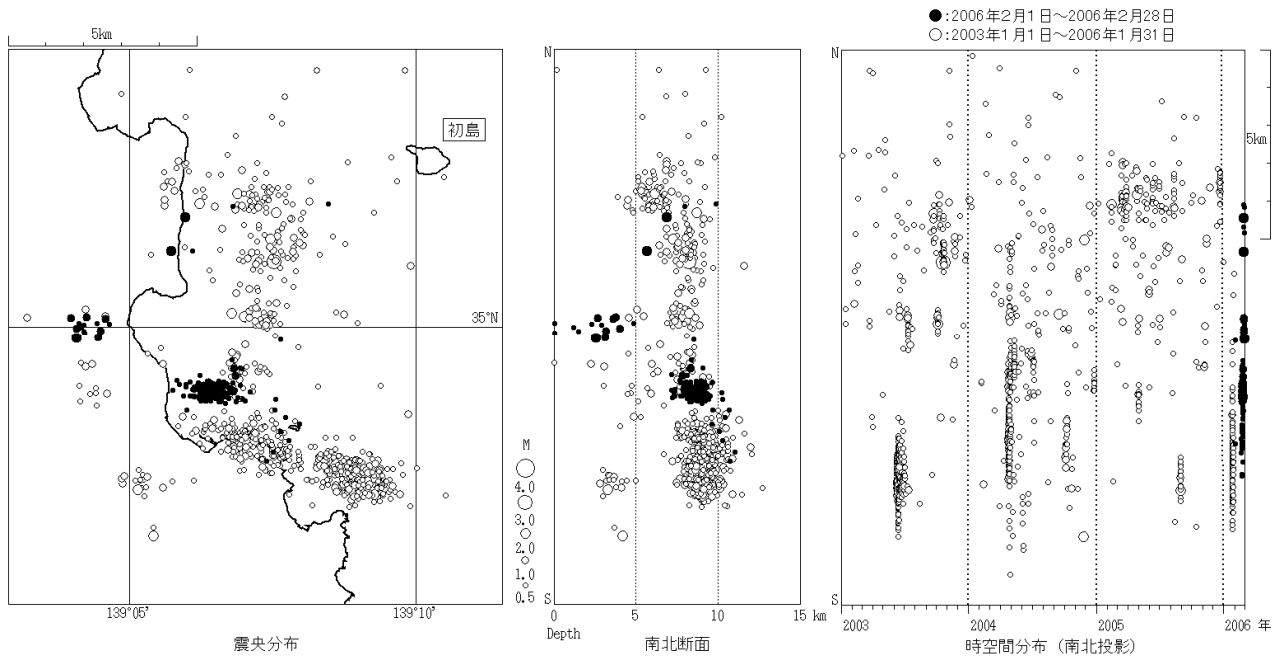


図 2※ 伊豆東部火山群 震源分布（2003 年 1 月～2006 年 2 月）

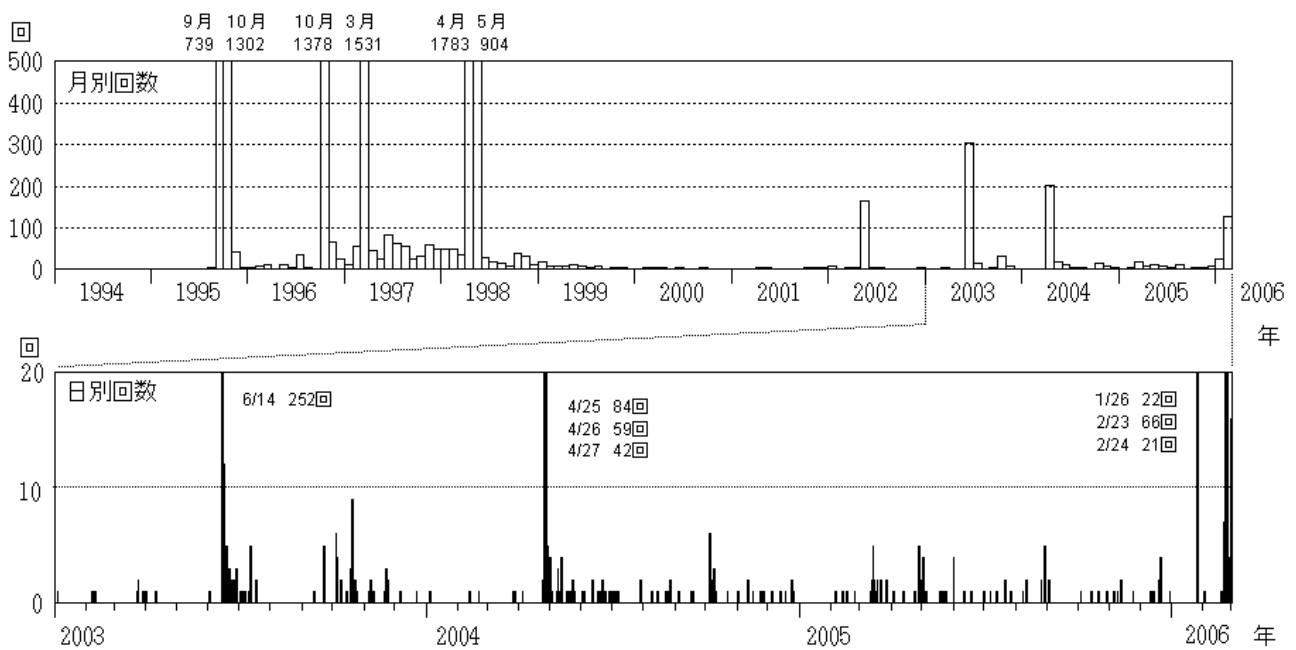


図 3※ 伊豆東部火山群 図 1 の領域内に発生した M（マグニチュード）0.5 以上の地震回数

上段：月別地震回数（1994 年 1 月～2006 年 2 月）

下段：日別地震回数（2003 年 1 月～2006 年 2 月）

○噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした（図 4）。

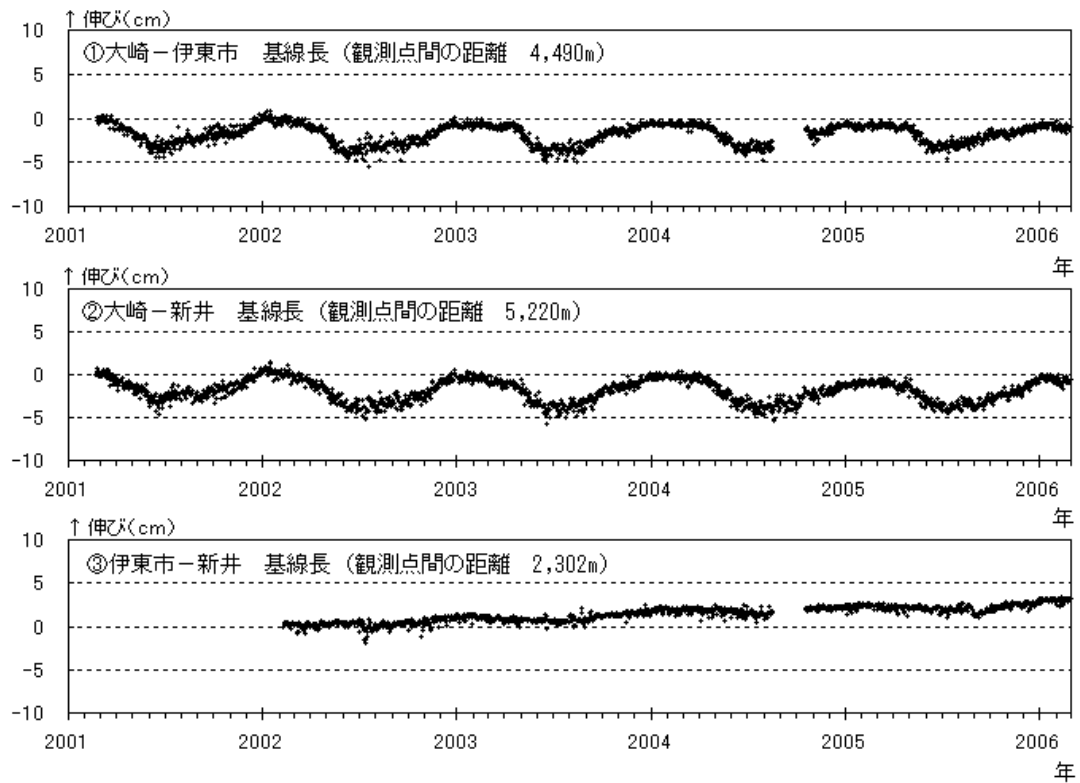


図 4 伊豆東部火山群 G P S 連続観測による基線長変化（2001 年 2 月～2006 年 2 月）
基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
（①～③は図 5 の G P S 基線①～③に対応しています）

○観測点情報

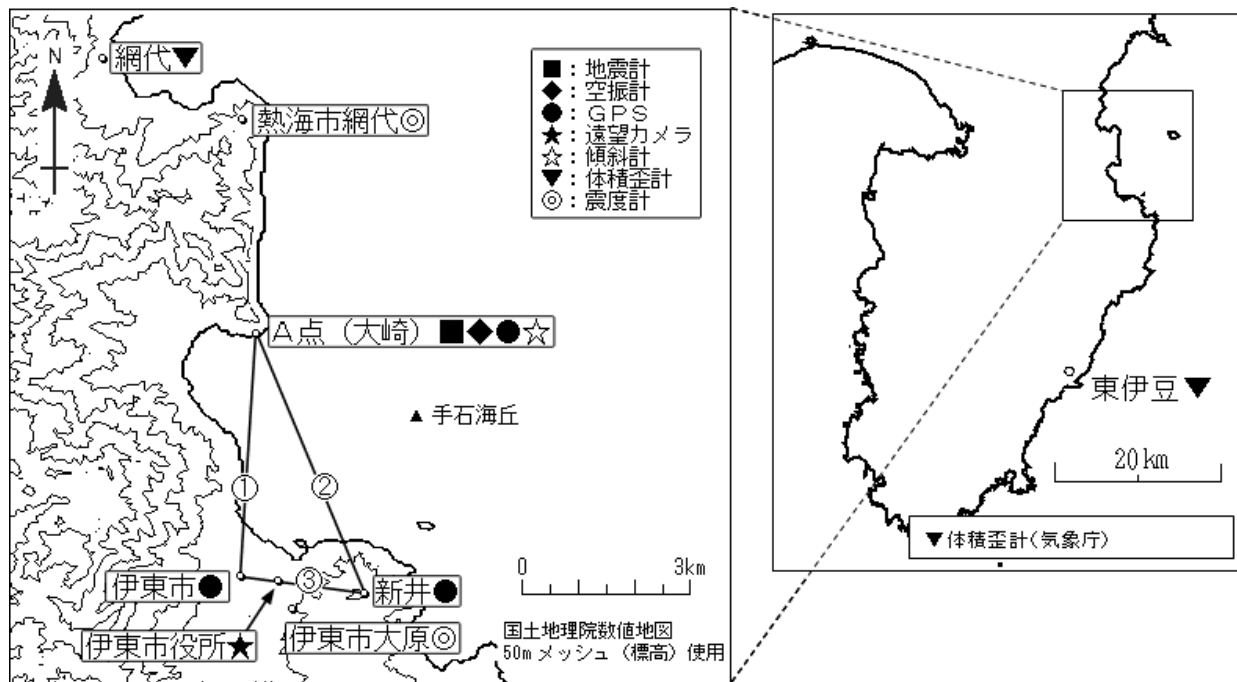


図 5 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）